

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

羽島市立中央中学校

平成31年4月に3年生で実施した全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について公表します。

これらの結果で得られた成果や課題を今後の学校経営や指導に生かしていきます。

1. 学力調査の結果

(1) 国語 全体の結果 ⇒ 全国平均より高い。

①領域毎の結果

領域毎の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国平均より高かった。

②全国平均より特に高かった問題は、

◎相手に分かりやすく伝わる表現について理解している

(2) 数学 全体の結果 ⇒ 全国平均より高い。

①領域毎の結果

領域毎の平均正答率では、「数と式」「図形」「資料の活用」「関数」では全国平均より高かった。

②全国平均より高かった問題は、

◎簡単な場合について、確率を求めることができる

(3) 英語 全体の結果 ⇒ 全国平均より高い。

①領域毎の結果

領域毎の平均正答率では、「書くこと」、「聞くこと」、「話すこと」で全国平均より高かった。

②全国平均より特に高かった問題は、

◎日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものを正確に読み取ることができる

◎まとまりのある文章を読んであらすじを理解できる

◎文の中で適切に接続詞を用いることができる

◎与えられた情報に基づいて3人称単数現在時制の肯定文や否定文などを正確に書くことができる

(4) 今後の指導について

①国語科・数学科・英語科の教科部において、誤答傾向を分析し、改善を検討した具体的な指導を実践していく。

②基礎学力定着のために授業前の2分間活動を継続していくと共に、苦手な領域の学力を強化できるように自学ノートを中心に取り組んでいく。

2. 質問紙調査の結果

授業・学校生活・家庭学習・生活習慣など69の質問で調査され、生活習慣にやや課題が見られるものの、それ以外は全体的に良好な結果であった。「当てはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合で全国と比較して、全国平均より高かったのは5項目だった。特に高かったのは以下の5項目だった。

・学校の授業時間以外に2時間以上勉強している ・30分以上読書している ・本を読んだり、借りるために月に1～3回以上図書館に行っている ・1, 2年生の時の授業では、原稿の準備なしで、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた ・1, 2年生のとき受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた

また、全国平均より低かったのは4項目だった。特に低かったのは以下の4項目だった。

・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している ・一日当たりの部活動の時間

・毎日同じくらいの時刻に寝ている ・総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

